学校番号	1007

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」（教育図書出版）						
副教材等	「くらしのペン習字」（教育図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の創造的な諸活動を通して生涯にわたり書を愛好する心情を育てる

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・初の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・書のよさや美しさを感受し意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	初の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けることができる。	書のよさや美しさを感受し意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができる。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	1年間の活動内容、教科書の写し等	a: b:現代作家の作品に触れたことに対してどのような感想を持ったか。 c: 集中して説明を聞いていたか		鑑賞プリント	授業態度
	五書体の復習	五書体の文字変遷の歴史の学習とともに現代書家作品を紹介	a:五書体の文字変遷を理解しているか b:多様な表現を理解したか c: 集中して説明を聞いていたか	ノート	鑑賞シート	授業態度
	蒔絵作品創作	小筆の練習(お盆) 書体の選択 古典の選択	a:お盆に上手く漆で字を書き、金粉をきれいに蒔き仕上がりが良くできているか b:五書体の書体でしっかり書けているか c:集中して説明を聞き制作に取り組んでいたか	作品	作品 構想シート	授業態度 振り返りシート
2学期	篆刻の学習	自分の姓名を石に印字して彫る 創作した自分の作品に捺す落款印の重要性を実感させる	a: 姓名の字体に篆書体でしっかり彫れているか b: 姓名の字体に工夫が見られるか c:集中して説明を聞き制作に取り組んでいたか	作品	作品 構想シート	授業態度 振り返りシート
	表札の刻字	自分の名字を木に印字して彫る 書体の選択 字の練習 木に印字して彫る 字に彩色	a:字にきれいに彩色してよい仕上がりになったか b:名字をうまく書けていたか。 しっかり彫ることができたか c: 集中して説明を聞き制作に取り組んでいたか	作品	作品 構想シート	授業態度 振り返りシート

	卒業制作	自分の思う好きな言葉を考える 書体を考える 古典の味を出す 全紙2分の1の大きさに構成を考えて練習する 第三者に感動を与える	a:第３者が感動する作品の仕上がりになったか b:書表現をする上で古典を選択しその書風を生かした創造的な表現をめざせたか。 c: 集中して説明を聞き制作に取り組んでいたか	作品	作品 構想シート	授業態度 振り返りシート
3学期	カレンダー制作	自分がポジティブになれる言葉を考える 書体を考える 古典の味を出す カレンダーの大きさに構成を考えて練習する 自分を元気づけてくれる作品を仕上げる。	a: 自身の独奏的なイメージを書に表現することができたか b: イメージ持って個性的な表現をすることができたか c: 集中して説明を聞き制作に取り組んでいたか	作品	作品 構想シート	授業態度 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度